

記載例

自動式車両洗淨施設を設置する場合

様式第六（第八条関係）

特定施設設置届出書

日付は届出書の提出日に記入する。

〇〇年〇〇月〇〇日

仙台市公共下水道管理者
仙 台 市 長 殿

電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

申請者 住 所 東京都〇〇区〇〇一丁目〇〇 - 〇〇

名称 (法人名) 株式会社〇〇自動車販売

代表者 代表取締役 〇〇 〇〇

押印不要

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇自動車販売 仙台〇〇店	* 整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇区〇〇一丁目〇〇- 〇〇	* 受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	71. 自動式車両洗淨施設	* 施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり。	* 審査結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	* 備 考	
△ 汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△ 下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△ 用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- *印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

届出内容について簡潔に表現する。

別紙 1

届出の概要	店舗新設に伴い門型洗車機を1台設置
-------	-------------------

事業場の概要

会社設立年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
資本金	〇〇〇〇万円
従業員数	全体 500人 事業場 15人
業種	自動車小売業
施設管理担当部署 又は担当者	仙台〇〇店 店長 〇〇 〇〇 電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
休業日	毎週月曜日
操業時間	9時30分～18時30分 (12:00～13:00 休憩)
主要生産品	なし
事業内容	自動車の販売、洗車、整備
案内図	添付事業場案内図（資料1）のとおり

事業場の位置を示す地図を添付する。

特定施設の台数分を通し番号で整理する。

別紙 2

特定施設の構造

番 号	①		
特定施設の種類	71		
特定施設の名称	自動式車両洗淨施設	}	
型 式	ABC-123		
構 造	門型		
主 要 寸 法	幅 3,700mm 高さ 2,850mm 奥行 3,000mm		
能 力	8 台/h		
数 量	1		
配 置 ※	事業場平面図 (資料3) 参照		
工事着手予定 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日	}	
工事完成予定 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日		
使用開始予定 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日		
その他参考となるべき事項 1 台当たりの洗車時間合計は 405 秒 (洗車時間: 225 秒+スプレー洗車機による予備洗淨: 60 秒+入替時間: 120 秒) のため、時間当たりの最大洗車可能台数は 8 台/時間。			

型式、構造、寸法、能力がわかる書類
(カタログ等) を添付する (資料 2-
1)。

特定施設に関連する設備等を含めた
年月日を記載する。

除害施設等設計計算書の時間最大洗車台
数の根拠 (背景) について記載する。

備考

※事業場平面図に、特定施設及びこれに関する主要機器又は主要装置の配置を記載すること

別紙 3

特定施設の使用の方法

番 号	①					
特定施設の名称	自動式車両洗淨施設					
設 置 場 所	事業場平面図 (資料3) 参照					
操 業 の 系 統	洗車					
使用時間間隔	随時 (12:00~13:00 停止)					
1日当たりの使用時間	6時間					
使用の季節的変動	なし					
汚 水 の 水 質						
項 目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
pH	5を超え 9未満	5を超え 9未満				
浮遊物質 [mg/L]	200以下	250以下				
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	30以下	50以下				
	特定施設から排出される汚水の量を記載する(別紙除害施設等設計計算書で算定した自動洗車機の時間除害対象水量×1日当たりの使用時間)。					
汚水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	1.44	2.16				
原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	シャンプー OL/日					
その他参考となるべき事項	繁忙期の日最大洗車台数は30台/日。門型洗車機の稼働は6時間/日のため、5台/時間洗車する。時間当たりの最大洗車可能台数が8台/時間のため、稼働率は0.6とする。					
	使用する薬品の名称及び量を記載し、そのSDS(安全データシート)を添付する(資料4)。					
	汚水の水質の欄には使用する薬品等を基に、特定施設の稼働により発生する汚水について該当する下水道排除基準項目及び濃度を記載する。					
	除害施設等設計計算書の稼働率の根拠(背景)について記載する。					

区域（雨水の集水エリア）が複数存在する場合は区域ごとに作成し、事業場平面図にも区域分けを明示する。

別紙4 汚水の処理の方法

処理の方式	沈殿法、浮上分離法、吸着法			
種類及び型式	沈殿槽、油水分離槽、吸着槽			
処理施設の設置場所	事業場平面図（資料3）参照			
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
構造	コンクリート製			
主要寸法	別紙平面図・断面図（資料5）参照			
能力	別紙除害施設等設計計算書（資料6）参照			
処理の系統	事業場平面図（資料3）参照			
集水及び導水の方法	事業場平面図（資料3）参照			
使用時間間隔	常時			
1日当たりの使用時間	6時間			
使用の季節的変動	なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	吸着材 7.56kg/月			
汚 水 の 水 質				
項目	通常		最大	
	処理前	処理後	処理前	処理後
pH	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満
浮遊物質量 [mg/L]	200	100	250	150
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	30	3	50	5
汚水の量 (m ³ /日)	通常 2.88		最大 4.32	
残さの種類、生成量及び処理の方法	沈殿槽の汚泥 : 年4回産業廃棄物処分 (〇kg/回) 業者〇〇 浮上分離後の油分 : 年4回産業廃棄物処分 (〇kg/回) 業者〇〇			
下水道へ排除する方法	自然放流			
その他参考となるべき事項	吸着材は別添カタログ（資料7）のとおり。			

時間当たりの除害対象水量が 1m³ 以上の場合、また 1m³ 未満でも自動洗車機を設置する場合は吸着槽を設置する。

吸着剤はカゴいっぱい充填するため、使用量は吸着カゴの設計容量から逆算する。

《設計容量(m³)×密度(kg/m³)×充填率》

今回の例の場合は、
0.027m³×0.4×10³kg/m³×0.7=7.56kg/月

除害施設に流入する汚水の水質及び流出する汚水の水質を記載する。処理後は排除基準内とする。

この除害施設に流入する汚水の量を記載する（別紙除害施設等設計計算書で算出した洗車施設等の除害対象水量合計×1日当たりの使用時間）。

カタログを添付する。

基本的に原水がポンプ up 流入しないように設計し、ポンプ up の場合は原則として除害施設の後に設置する。

公共ますが複数になる場合は通し番号で整理し、事業場平面図にも同じ番号を記載する。
 公共ますの位置は事業場敷地中心部から見た場合の方位を記載する。

別紙 5

下水の水質及び量

公共ます位置	1(北西)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大
下水の水質 項目						
pH	5を超え 9未満	5を超え 9未満				
浮遊物質 量 [mg/L]	100 以下	150 以下				
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	3 以下	5 以下				
下水の量 (m ³ /日)	通常 4.08	最大 6.12	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 下水の水質（通常・最大）は、使用薬品及び排水に影響のある物質等を考慮して、 排除基準値以内になるよう適正に処理してから排除する。各項目については、特定 施設からの排水を処理しないで流した場合、超過のおそれのある項目を記載する。 </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 下水の量（通常・最大）は、別紙 3（特定施設からの排水量）、別紙 4 （除害施設からの排水量）、別紙 7（下水道へ排除する排水量）及び 別紙除害施設等設計計算書と整合がとれているか確認する。 </div>						

備考

下水の水質は生活排水の影響を除くものとする。

雨水の放流先 雨水管

別紙6

用水及び排水の系統

事業排水・・・赤
生活排水・・・黄
雨水・・・緑
冷却水・・・青
温泉水・・・紫

事業場平面図

・別紙事業場平面図（資料3）参照

- ・排水管は上記凡例の色ですべて着色する。
- ・事業系排水、生活系排水、雨水の経路を同一図面へ記載する。
- ・事業系（赤）と生活系（黄）の合流後は事業系（赤）とし、赤で着色する。
- ・給水栓及びスプレー洗車機の位置を明記する。
- ・洗車場の勾配がわかるよう流れる方向を矢印等で記載する。
- ・降雨時の汚水量算出に使用する面積がわかるようにする。
- ・空調ドレンは污水管に接続する。

備考

公共ますの位置及び放流先を明示すること。

別紙 7

用途別用水量及び排水量

用水量※

用 水 分 類	月平均用水量 (m ³ / 月)	日平均用水量 (m ³ / 日)	1 ヶ月の稼働日数
上 水 道	102	4.08	25
工 業 用 水			
井 戸 水			
合 計	102	4.08	

排水量

排 水 分 類	日平均排水量 (m ³ / 日)	
下 水 道 へ 排 除	事 業 排 水	2.88
	生 活 排 水	1.2
	合 計	4.08
下 水 道 以 外		

別紙 3 汚水の量 (通常) 各特定施設からの排水量に特定施設以外で生活系に該当しない排水加算する。

生活系日排水量 $0.08\text{m}^3/\text{人} \times 15 \text{人} = 1.2 \text{m}^3$

下水道へ排除する合計は、別紙 5 の下水の量 (通常) と整合がとれているか確認する。

※ [お知らせ]

上水道(市水)以外を用水として使用する場合は、公共下水道の使用料について建設局下水道経営部業務課業務係と協議が必要です。

なお、この届出における別紙 1 及び別紙 7 の内容に基づき、業務係から施設管理担当の方へ連絡する場合があります。

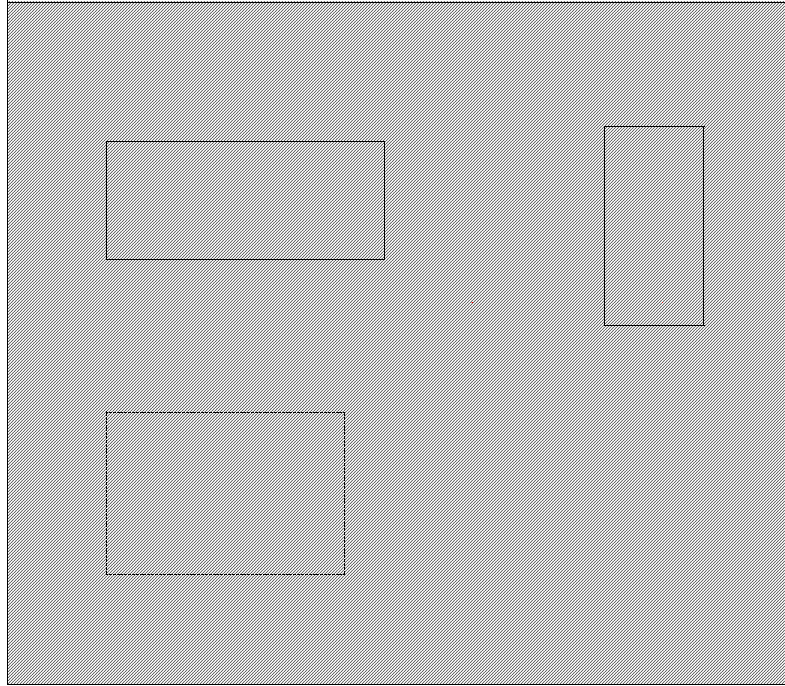
○下水道使用料に関する連絡先

仙台市建設局 下水道経営部 業務課 業務係(市役所本庁舎 5 階)
TEL 022-214-8809

事業場案内図

資料1

(参考)



〇〇公園

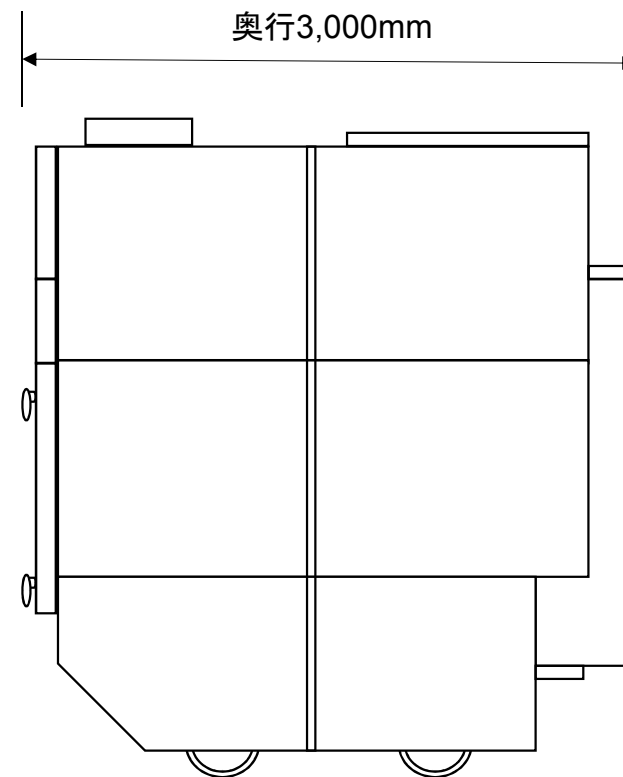
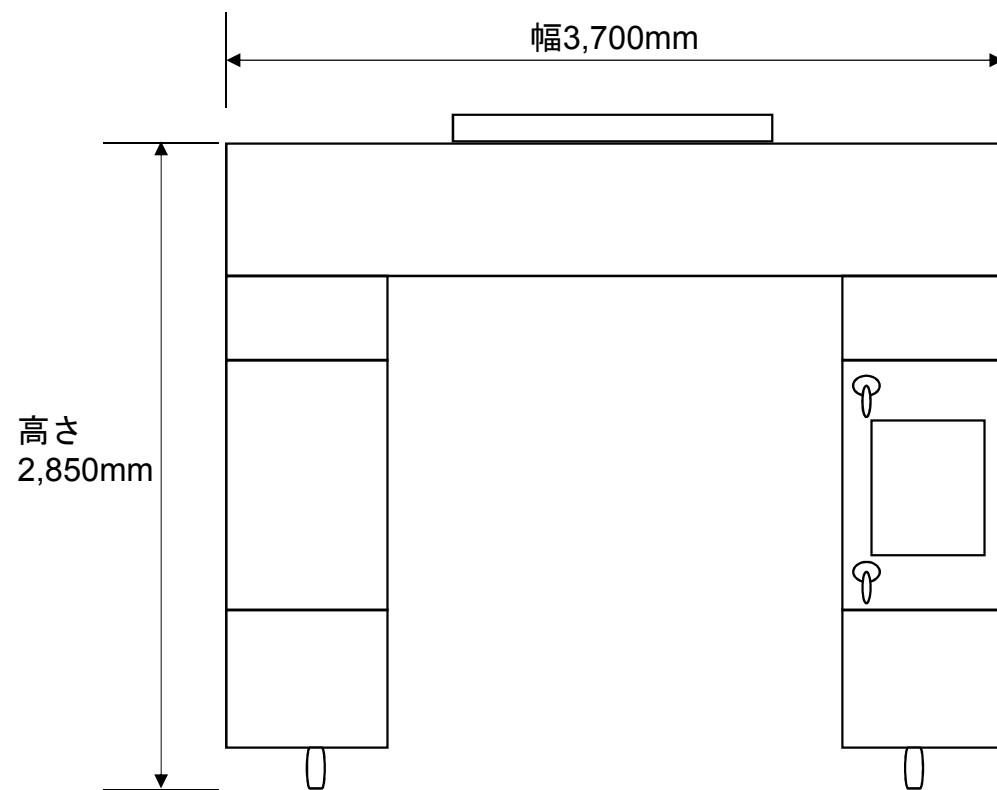
〇〇工場

〇〇小学校

特定施設①の構造図（例）

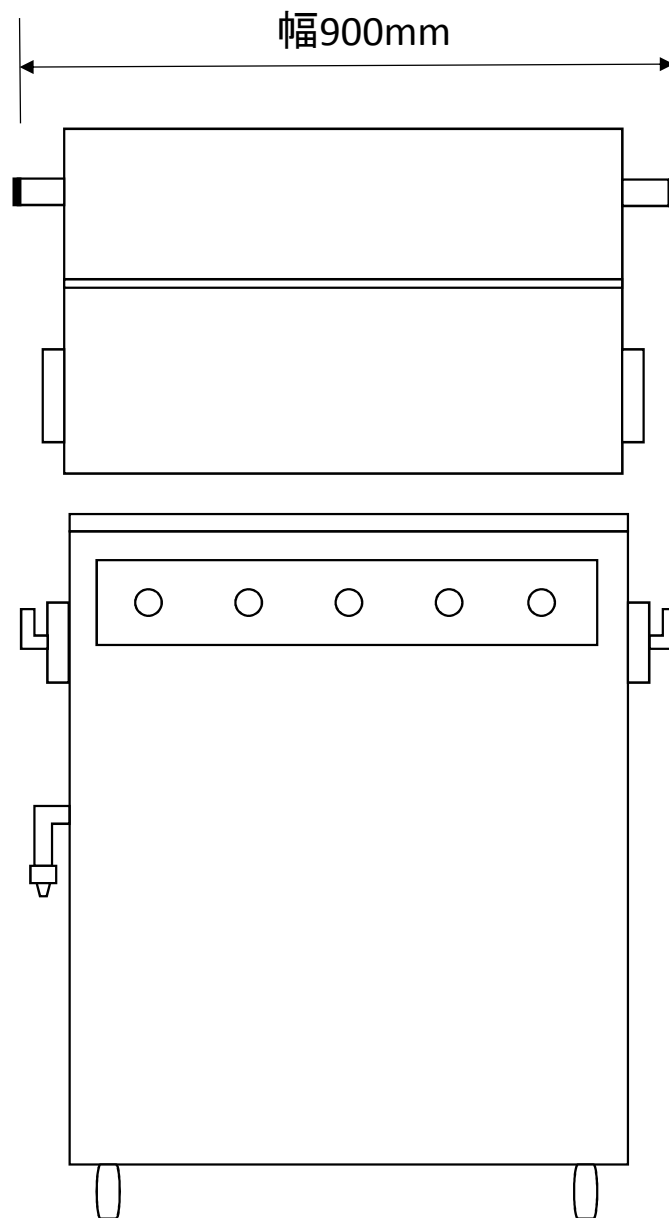
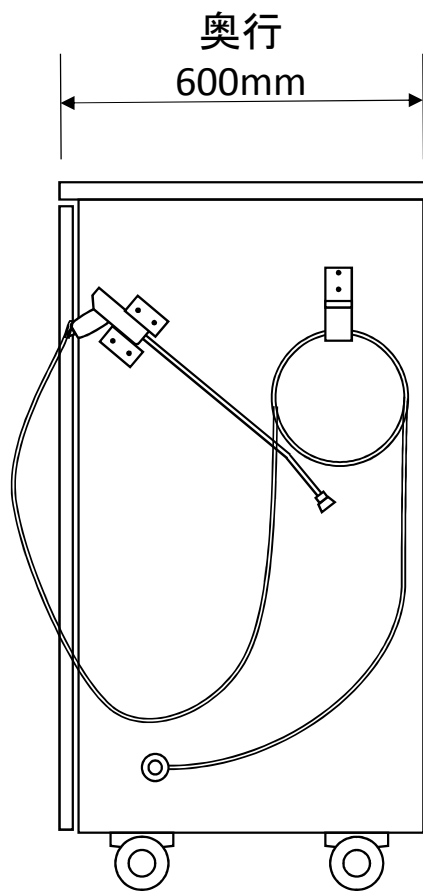
型式：ABC-123（株式会社〇〇）
使用水量：50L/台
洗車時間：3分45秒（シャンプー洗車1往復時）

資料 2 - 1



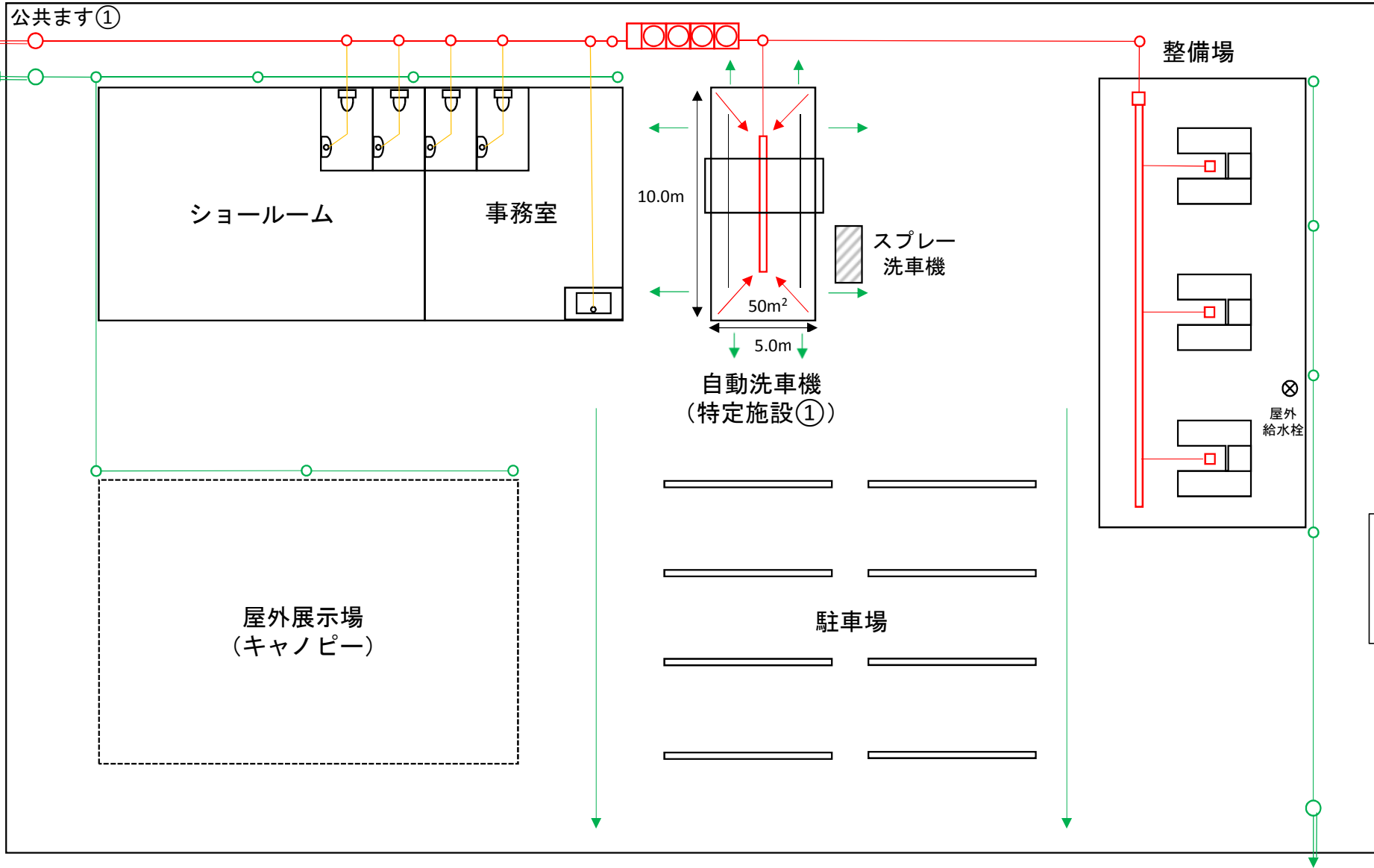
スプレー洗車機の構造図（例）

型式：DEF-456（株式会社〇〇）
吐出量：25L/min



資料 2 - 2

資料 3



安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ○○シャンプー
会社名 : ○○○○株式会社
住所 : 東京都○○区○○○○町○ - ○○ - ○○

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性 : ○○○○
健康に対する有害性 : ○○○○
環境に対する有害性 : ○○○○

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名 : 自動車用洗剤
成分及び含有量 : ○○○○
化学特性 : ○○○○

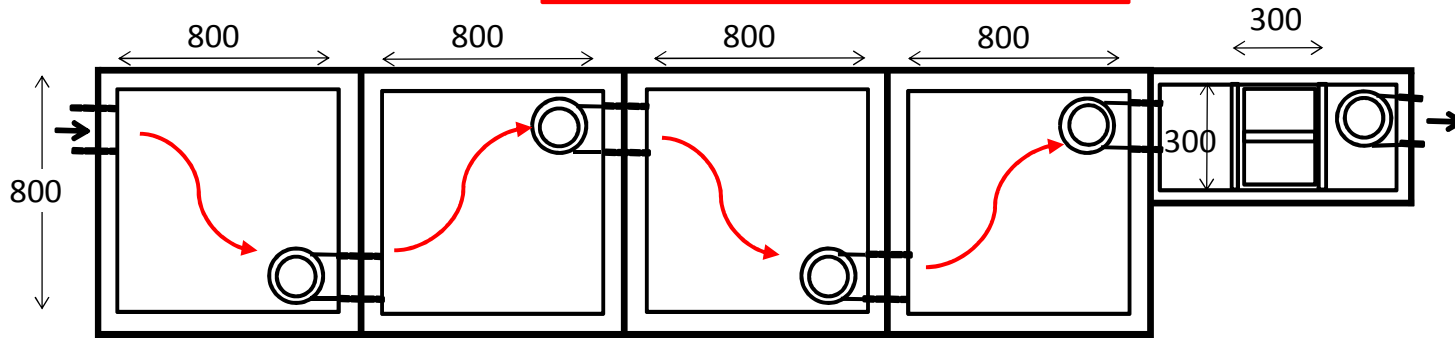
4. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体
色 : 無色透明
臭い : ほぼ無臭
pH : 7.2 (25 度)

除害施設の図面例

流入と流出は最も距離が長くなるよう設計する。

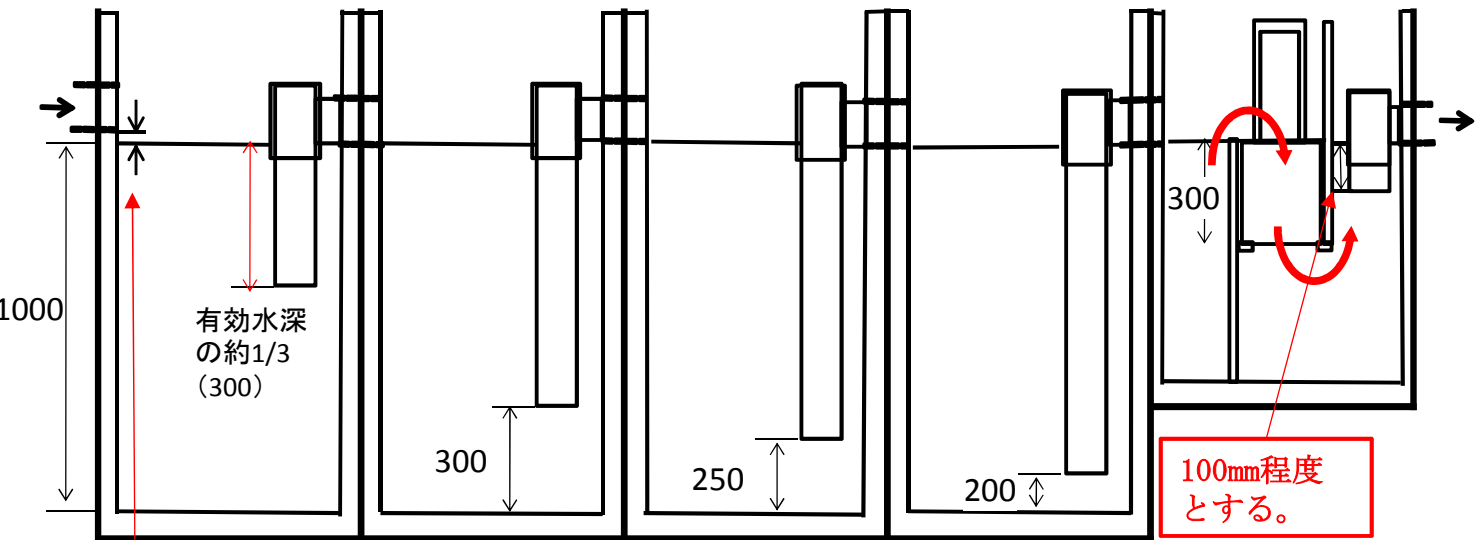
資料5



(沈殿槽)

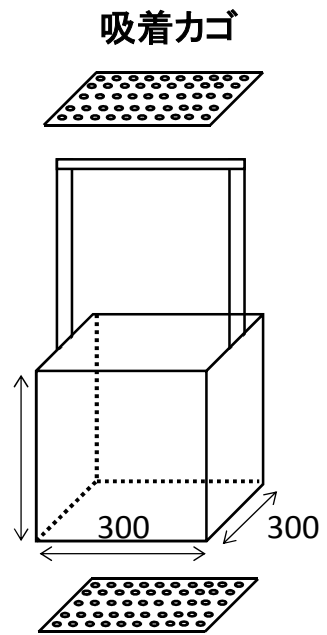
(油水分離槽)

(吸着槽)



20mm程度の
落差を設ける。

100mm程度
とする。



吸着カゴは側面は四面ステンレス版等、上下通過面はパンチングメタル又はメッシュ仕上げとする。パッキンを設置する等により、カゴ周囲の隙間を可能な限りなくす。

- 沈殿槽の移流管は有効水深の3分の1とする。
- 分離槽の移流管は槽底部より1槽目300mm，2槽目250mm，3槽目200mmとする。

例

除害施設等設計計算書(例) (鉱油類を排出する事業場)

(1) 除害施設が必要な事業系排水を発生させる給水施設

汚水

洗車場				
自動洗車機	洗車機設置台数	単位排水量 [m ³ /台]	最大洗車台数 [台/時間]	最大排水量 [m ³ /時間]
	1	0.05	8	0.4
スプレー洗車機	洗車機設置台数	単位排水量 [m ³ /分]	最大使用時間 [分/時間]	最大排水量 [m ³ /時間]
	1	0.025	8	0.2
屋外給水栓 (手洗洗車・雑用水)	屋外給水栓数	口径 [mm]	口径流量 [m ³ /時間]	最大排水量 [m ³ /時間]
	1	13	1.2	1.2

原水がポンプ up で流入する場合は、ポンプの能力又は計量槽の流出能力で別途計算する。

《自動洗車機の時間当たりの最大洗車台数》
 ①洗車時間：3分45秒
 ②スプレー洗車：1分（予備洗浄として使用）
 ③入替時間：2分
 ⇒洗車時間合計：6分45秒（405秒）として想定。
 3600秒÷405秒 = 8.89台/時間
 時間当たりの最大洗車台数は8台。

・最大洗車台数の根拠となる計算式を記載する。
 ・自動洗車機の使用水量、スプレー洗車機の吐出量が分かるカタログやランニングコスト表を添付する。

繁忙期の日最大洗車台数から1時間当たりの最大洗車台数を算出する。1日30台の場合、5台/時間となり、時間当たりの最大洗車台数で割って稼働率は0.6となる。更新の場合は実績等を考慮する。

除害施設を新設等する際は、洗車機を設置する区域では将来の水量増加を見込んで設計する。

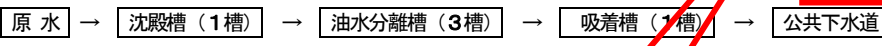
《沈殿槽の最低容量》
 600mm(幅)×600mm(長)×900mm(水深)×1槽
 《分離槽の最低容量》
 600mm(幅)×600mm(長)×900mm(水深)×3槽

の除害施設

(2) 時間当たりの除害対象水量の算定

	洗車場		
	最大排水量 [m ³ /時間]	最大稼働率	時間除害対象水量 [m ³ /時間]
自動洗車機	0.4	0.6	0.24
スプレー洗車機	0.2	0.6	0.12
屋外給水栓	1.2	0.1	0.12
洗車施設等の除害対象水量 合計	0.48 m ³ /時間		
降雨時の汚水 (1mm/時間)	建物及び屋根がない床面積 [m ²]	時間降雨量	時間除害対象水量 [m ³ /時間]
	50	0.001	0.05
各区域の除害対象水量 合計	0.53 m ³ /時間		

(3) 事業系排水の処理方法



(4) 沈殿槽及び油水分離槽の設計

		洗車場	
沈殿槽	必要容量	$0.53 \text{ m}^3/\text{時間} \times 1 \text{ 時間} \times 1.2 = 0.636 \text{ m}^3$	
	設計容量	$0.8 \text{ m} \times 0.8 \text{ m} \times 1.0 \text{ m} \times 1 \text{ 槽} = 0.64 \text{ m}^3$	
油水分離槽	必要容量	$0.53 \text{ m}^3/\text{時間} \times 3 \text{ 時間} \times 1.2 = 1.908 \text{ m}^3$	
	設計容量	$0.8 \text{ m} \times 0.8 \text{ m} \times 1.0 \text{ m} \times 3 \text{ 槽} = 1.92 \text{ m}^3$	

時間当たりの除害対象水量が1m³以上の場合、また1m³未満でも自動洗車機を設置する場合は吸着槽を設置する。

の設計

(5) 吸着槽の設計 (吸着材の用水時間8時間/日、使用日数25日、安全係数2、吸着能力1kg/kg、密度0.4kg/L、充填率0.7の場合)

洗車場	必要容量	$(30 \text{ mg/L} - 3 \text{ mg/L}) \times 0.53 \text{ m}^3/\text{時間} \times 8 \text{ 時間/日} \times 25 \text{ 日} \times 2 \div 1 \text{ kg/kg} \times 10^{-3} = 4.29 \text{ kg}$
	設計容量	$4.29 \text{ kg} \div 0.4 \text{ kg/L} \div 0.7 \times 10^{-3} = 0.015 \text{ m}^3$
		0.30 m × 0.30 m × 0.30 m × 1 個 = 0.027 m ³

吸着材の種類によって異なる。

ワックス等が多量に排出されるおそれがある系統は、吸着槽流入濃度を高く設計する。

計

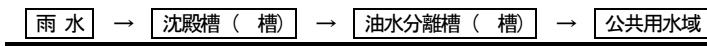
(6) 水道使用量検針履歴(実績)等による事業系時間最大排水量

別添水道使用量検針履歴等による最大日排水量は _____ m³/日
 生活系日排水量 0.08m³/(人・日)を控除すると、最大日排水量 _____ m³/日 ← 生活系日排水量 _____ m³/日
 日用時間を _____ 時間とし、その1.5倍を事業系時間最大排水量とすると、
 事業系日排水量 _____ m³/日 ÷ _____ 時間/日 × 1.5倍 = 事業系時間最大排水量 _____

新設の場合は記載不要。洗車機の入替等の場合は記載し、水道使用量検針履歴(実績)を添付する。

(7) 雨水の排水処理施設の設計

_____ 区域は、汚水が発生しない区域のため、雨水は公共用水域へ排出します。ただし、危険物取扱事業場であるため、次の方法で雨水を排出します。



C区域	全槽の必要容量	
	全槽の設計容量	

雨水の排水処理施設の設計

油吸着材 ○○○○

1. 特長

①○○○○

②○○○○

③○○○○

2. 用途

ガソリンスタンドなどの排水処理

厨房排水処理

流出油の回収

○○○○○

3. 製品特性

密度 : 約 0.4kg/l

吸着能力 : 1kg/kg

○○○○ : ○○○○

4. 仕様

外観 : ○○○○

材質 : ○○○○

5. 組成

主成分 : ○○○○